

Biz J (ビズインテグラル)の採用社数が 800 社を突破

～ クラウド上での環境構築自動化や帳票の機能強化を今春に予定 ～

株式会社 NTT データ・ビズインテグラル（本社：東京都港区、代表取締役社長：有馬 勲、以下：NTT データ・ビズインテグラル）は、ERP（統合基幹業務システム）パッケージ「Biz J®（ビズインテグラル）」の採用社数が 800 社を突破したことを発表します。

Biz J は、2011 年の本格展開後、採用社数を着実に積み重ねており、2015 年度の「大手企業（年商 500 億円以上）向け ERP パッケージ市場」にて単年出荷本数で第 2 位となりました^{※1}。過去に導入した外資系パッケージを継続利用しない意向を持つお客さまのリプレース対応など、お客さまのニーズに応える形で、採用社数を増やしています。

また、クラウド上での環境構築自動化や帳票レイアウトを自由に変更できる機能の強化を実施しています。これらの機能強化を盛り込んだバージョンは今春に発売を開始する予定です。

【Biz J とは】

Biz J は、会計・販売・購買・人事などの基幹業務アプリケーションを揃えた大企業向け ERP パッケージです。近年は、年商 5,000 億円超の企業への導入実績が増えています。国内シェア No.1^{※2}のワークフロー/Web 開発基盤である「intra-mart®」を統合基盤としており、基幹業務システムと情報系システムの一体動作を実現しています。

【採用社数増加の背景】

Biz J は、近年、下記のようなお客さまのニーズに応える形で、採用社数を増やしています。

- ・ 過去に導入した外資系パッケージを継続利用しない意向を持つお客さまのリプレース対応
- ・ 大企業（特に年商 5,000 億円超）のグループ共通会計システムに求められるマルチテナント対応、多言語・多通貨等のグローバル対応、IFRS（国際財務報告基準）対応
- ・ クラウド上での利用への対応（直近 3 年間の案件引合いのうち、56%のお客さまがクラウドでの利用を要望）
- ・ お客さま社内で投資対効果を訴求しづらい会計単独の更改プロジェクトではなく、販売管理、購買管理、プロジェクト原価管理等の更改を組み合わせた複数業務領域を跨るプロジェクトへの対応
- ・ 既存 IT 資産やクラウドサービスとの連携を取りながら、基幹業務システムの一部を入れ替えるニーズへの対応

【今後の方向性】

NTT データ・ビズインテグラルは、お客さまニーズの強い「クラウド上での ERP 利用」の利便性をさらに高めるため、クラウド上での環境構築自動化機能を強化します。これにより、クラウドの利用契約から Biz J 利用開始までの期間をさらに短縮することが可能になります。

また、根強いニーズのある各種帳票（経営分析のための管理会計帳票、取引先要件でカスタマイズが必要な見積書・請求書など）についても、画面上で自由にレイアウト変更できる機能を強化します。これらの機能強化を盛り込んだバージョンは今春に発売を開始する予定です。

※1 出典：ミック経済研究所『基幹業務パッケージソフトの市場展望 2016 年度版』

※2 出典：富士キメラ総研『ソフトウェアビジネス新市場 2015 年版 上巻』の「ワークフロー市場」分野

注) 「Biz J」は、株式会社 NTT データ及び株式会社 NTT データ・ビズインテグラルの登録商標です。

注) 「intra-mart」は、株式会社 NTT データイントラマートの登録商標です。

注) 本リリースに記載されている内容は予告無く変更することがあります。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 NTT データ・ビズインテグラル
パートナーサポート本部

TEL:03-6234-1662 /FAX:03-6234-1666

E-Mail: contact@biz-integral.com

<http://www.biz-integral.com>

■関連講演のお知らせ

株式会社 NTT データは、ガートナー・ジャパン株式会社が主催する「ガートナー エンタプライズ・アプリケーション戦略 & アプリケーション・アーキテクチャ サミット 2017」にて講演します。

・日時：2017年3月16日(木)、17日(金)

・場所：東京コンファレンスセンター・品川

詳細は、ガートナー・ジャパン株式会社の公式 Web サイト(<http://gartner-em.jp/aa/index.html>)をご覧ください。

以上